

まめ☆だすか ささえあい ネット 十文字 通信

～地域みんなで、たすけあい・支えあいに取り組もう～



発行 第2層 十文字生活支援協議体 事務局

(社会福祉法人 横手市社会福祉協議会 十文字福祉センター内)

住所：十文字町梨木字御休ノ上 29 TEL：42-5858/FAX42-457

第3号

H30.9.2 発行

十文字地域では平成27年度末に、地域のたすけあい・支えあい活動を更に発展・推進させる“地域づくり”の取り組みを進めていくために、「生活支援協議体」（構成員：地域住民、行政等関係機関・団体等）を設置しました。今後はこの協議体の中心となる「生活支援コーディネーター」の配置をする予定となっています。

■ 十文字生活支援協議体の取り組み

十文字生活支援協議体では、地域のたすけあい・支えあい体制を推進していくため、まずは、地域住民の意識啓発に重点的に取り組むことにしました。

特に、子どもの頃からのたすけあい・支えあいの意識啓発が重要との意見から、一昨年度から次のような取り組みや住民向けの研修会を行っています。

(※管内4小学校のPTA会長もメンバーに加え、現在17名で活動中。)



①小学生を対象にした地域のたすけあい・支えあい意識啓発授業



(昨年度の様子／①は小学4年生を対象に実施)

②地域イベントでの意識啓発活動（十文字まるごとマルシェ／我ら町の営業本部）



十文字生活支援協議体のことを地域の皆さんに広く知ってもらおうと、『まめ☆だすか(ささえあい ネット 十文字)』という愛称にしました。

～ 身近にできる「たすけあい・支えあい活動」を考えてみましょう ～

「自分の力を地域の力に！！」・・・地域の方と一緒に協力しながら、自分の力を地域のたすけあい・支えあいの活動に活かしていきましょう。

見守り

日頃から、あいさつや声かけなどを行って地域内で顔の見える関係をつくり、お互いに気にかけてあえるような地域づくりを進めてみましょう。「いつもと違う」「何かおかしい」と感じる人を発見したら、地域の方や専門の相談機関等へ連絡しましょう。



必要に応じて、市や相談機関等に連絡することが大切です。

新聞や郵便物がたまっている・・・

居場所づくり

誰でも気軽に立ち寄れる地域の憩いの場（居場所）があると、交流を通じて日頃の悩みなどを相談できる関係が築きやすくなり、住民どうしのつながりや支えあいを育むことができます。また、地域の情報を共有することができます。

最近、Aさんをみないね・・・



帰りに様子を見に行ってみるよ

地域活動への参加

地域の行事や活動の場へ積極的に参加することで、子どもから高齢者までの幅広い世代の地域住民のつながりができ、日頃の見守り活動や防犯などにつながります。



生涯現役！

元気な高齢者の皆さんの積極的な参加を！！

支えあいのまちづくりを生きがいにしてみませんか？地域の方々と交流を深めながら活動することは、自身の健康づくりにもつながります。

